

南三陸 復興まちづくり通信

第8号(平成27年2月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。法人化を機会に、町内外の皆さまに活動の内容をご理解いただき、共に地域の再建への道を進んでいくために『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



(入居が始まった町営柗沢復興住宅)

柗沢災害公営住宅入居開始

歌津柗沢地区に整備が進められていた町営柗沢復興住宅が完成し、2月2日から入居が始まりました。国道45号線沿いの高台に建設された同住宅は、軽量鉄骨造り3階建ての集合タイプ1棟で、2DK13戸、3DK7戸の計20戸。周辺にはコンビニや食堂、医院・歯科医院、薬局などのほか、BRTと仙台行きの直通バスの停留所もあり、生活の利便性が良いため人気が高く、入居申し込みには2倍近い応募がありました。

民生委員児童委員協議会と意見交換

南三陸町民生委員児童委員協議会と復興みなさん会の意見交換会が1月23日、役場会議室で行われました。始めに復興みなさん会の後藤代表が、団体設立の経緯から現在までの活動状況について紹介。その後、協議会の役員から、震災後の活動の内容や課題について説明が行われました。コミュニティづくりについても情報を共有したほか、公営住宅入居後の様々な対策についても意見が交わされました。



(「意見交換会」の様子=役場会議室)



大漁と航海安全を祈願 歌津寄木で小正月行事「ささよ」

1月15日、歌津寄木地区に250年以上前から伝わるという民俗行事「ささよ」が行われ、子どもたちの威勢の良い歌声が浜に響きました。この日は法被姿の小中学生4人が、大漁旗をくくり付けた竹を担ぎ、「ささよ」の唄を歌いながら仮設住宅などを回り、大漁と航海安全を祈願しました。「ささよ」は震災後も休まず続けられ、地区の人々を励ましています。



(マップのデザイン案を基に意見を出し合う参加者)

「入谷お役立ちマップ」3月完成予定!

復興みなさん会が町営入谷復興住宅入居者や近隣の皆さんと制作を進めている「入谷お役立ちマップ」づくりの2回目のワークショップが2月1日、同住宅の集会所で開催され、入居者や近隣住民など約20人が参加しました。前回出されたアイデアを基に作られた地図のデザイン案を見ながら、情報を修正したり、追加したりする作業を行いました。マップはA2版の大きさで、3月中に完成する予定です。出来上がったら、お披露目会を開く予定で、その後、入居者や近隣住民、周辺の商店などに配布されます。

すばらしい歌津をつくる協議会の

「震災復興支援部会」が開催されました

すばらしい歌津をつくる協議会「震災復興支援部会」の会議が1月28日、平成の森大会議室で開催されました。会議には、行政区長、契約会長、仮設住宅の自治会長など25人が出席。災害公営住宅や防災集団移転、コミュニティ再構築など様々な課題について、情報の共有と意見交換が行われました。また、復興みなさん会が先進地視察を提案し、2月中旬に女川町を訪問する計画が了承され、日程等を検討することになりました。



(「震災復興支援部会」の会合の様子=平成の森)



(海が見える高台に建てられた木の家=戸倉波伝谷)

木の家づくり互助会が見学会

南三陸町産材を活用した住宅建設を推進している「南三陸木の家づくり互助会」(小野寺寛会長)の主催する「住宅見学会・相談会」が1月17、18の両日、志津川と戸倉のモデルハウスで開催されました。互助会システムによる建物は、既に町内だけでも農漁家レストラン、地域の集会施設など3棟が完成。また、大崎市田尻町の社会福祉法人の事業所新築工事や、生協パルシステム茨城・日立館の建設工事にも南三陸町産材が使われるなど、広がりを見せています。

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山27-2
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当法人は、本年度の宮城県震災復興担い手NPO等支援事業の助成金を受けて、活動を行っています。